

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-4

< 51週 > 百日咳 - 定点当たり報告数は微増し、過去5年間の同  
時期と比較してかなり多くなっている / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.5

< インフルエンザ > 定点当たり報告数は第51週現在0.36であり、  
まだ本格的な流行が始まっている状況ではない



病原体情報  
P.6-7

インフルエンザウイルス 2004/05シーズン / 冬季の感染性胃腸  
炎関連ウイルス 2004/05シーズン



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報  
P.8-10

スマトラ沖地震による津波の影響について / アジアでの鳥イン  
フルエンザ流行状況 - 更新



感染症の話  
P.11-13

< 腎症候性出血熱 > ネズミを介す  
るハンタウイルスの感染による出血  
性腎疾患である



読者のコーナー  
< 今週は該当記事は  
ありません >



グラフ総覧( 51週 )  
P.14-20



51週のデータ  
P.21-30



# 発生動向総覧

\*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

< 第51週コメント > 12月24日集計分

## 全数報告の感染症

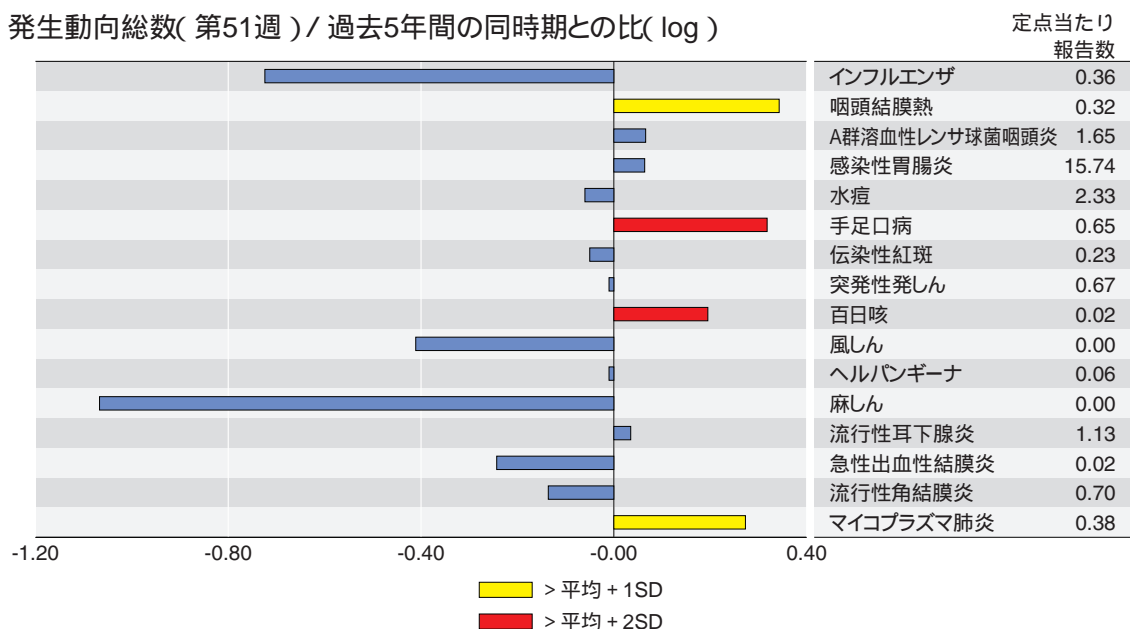
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
  - 2類感染症: コレラ 1例( 推定感染地域: フィリピン )  
細菌性赤痢 4例( 推定感染地域: 国内1例、インド1例、フィリピン1例、不明1例 )  
腸チフス 1例( 推定感染地域: 国内 )
  - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 17例( うち有症者10例 )  
報告の多い都道府県: 兵庫県( 4例 )  
血清型・毒素型: O157 VT2( 6例 )、O157 VT1・VT2( 6例 )、O157 VT1( 1例 )、O111 VT1( 1例 )、O111 VT1・VT2( 1例 )、その他( 2例 )  
年齢: 10歳未満( 6例 )、20代( 4例 )、30代( 1例 )、40代( 3例 )、50代( 2例 )、70歳以上( 1例 )
  - 4類感染症: つつが虫病 13例( 鹿児島県5例、宮崎県4例、福島県1例、群馬県1例、神奈川県1例、新潟県1例 )  
デング熱 1例( 推定感染地域: フィリピン )  
マラリア 1例( 三日熱\_\_推定感染地域: ブラジル )  
レジオネラ症 5例( 40代1例、70代3例、80代1例 )  
E型肝炎1例( 推定感染地域: 国内、推定感染源: 豚レバー )
  - 5類感染症: アメーバ赤痢 6例  
推定感染地域: 国内4例、不明2例  
推定感染経路: 経口2例、性的接触( 同性間 )1例、経口/動物1例、不明2例
  - ウイルス性肝炎 3例  
B型2例\_\_推定感染経路: 性的接触( 同性間 )1例、不明1例  
サイトメガロウイルス 1例
  - クロイツフェルト・ヤコブ病 4例( すべて孤発性 )
  - 後天性免疫不全症候群 8例( 無症候5例、AIDS 2例、その他1例 )  
推定感染経路: 性的接触7例( 異性間1例、同性間5例、異性間/同性間1例 )、不明1例  
推定感染地域: すべて国内
  - ジアルジア症 2例( 推定感染地域: インド1例、不明1例 )
  - 梅毒 6例( 早期顕症I期2例、早期顕症II期3例、無症候1例 )
  - 破傷風 1例( 60代 )
  - 急性脳炎 1例( 病原体不明、40代 )
- ( 補 ) 報告遅れとして、急性脳炎1例( 病原体不明、70代 ) の報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関( 定点 )から報告され、疾患により小児科定点( 約3,000カ所 )、インフルエンザ( 小児科・内科 )定点( 約5,000カ所 )、眼科定点( 約600カ所 )、基幹定点( 約500カ所 )に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数( 第51週 ) / 過去5年間の同時期との比( log )



当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 )の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

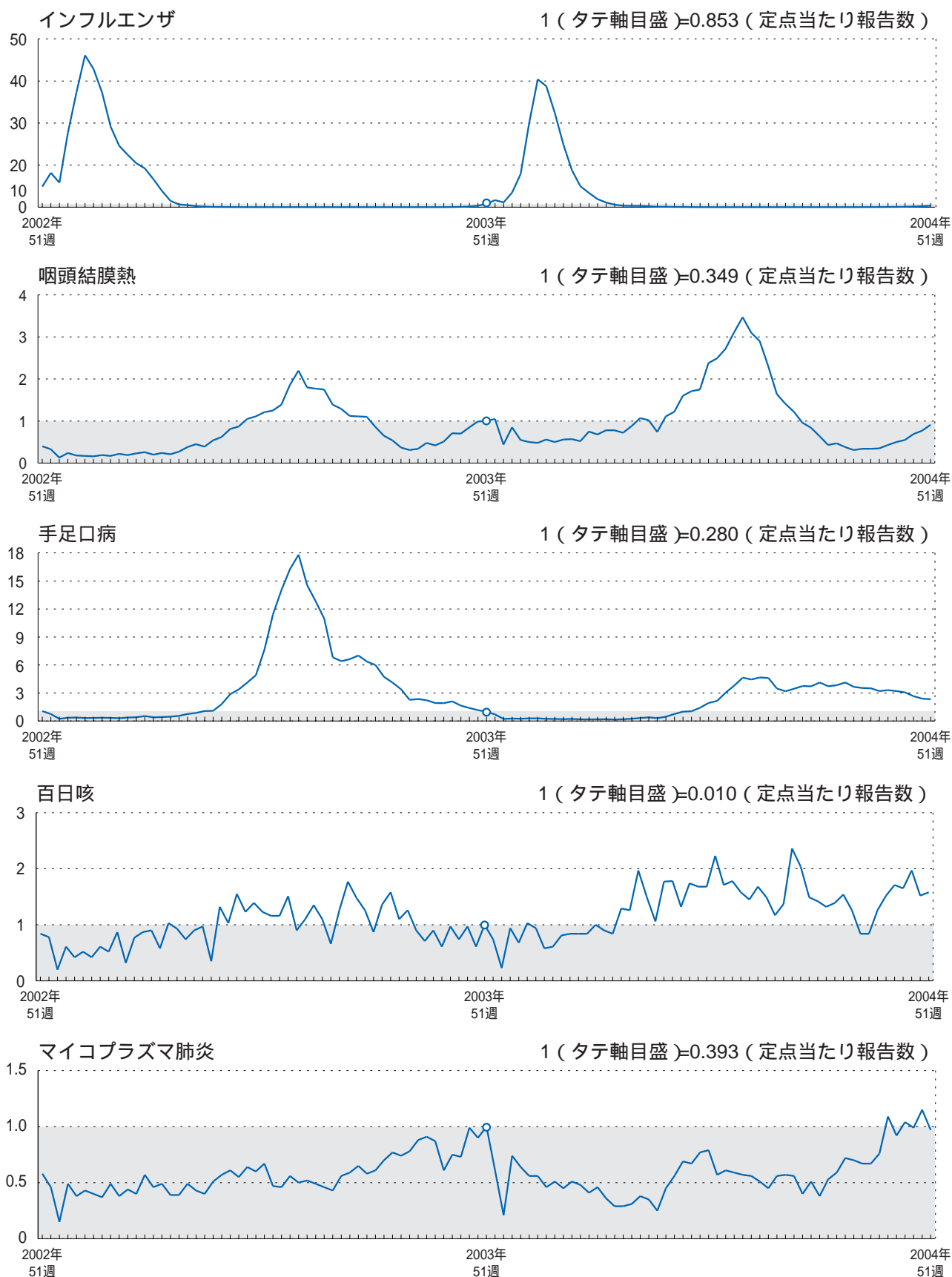
**インフルエンザ定点報告疾患:** インフルエンザの定点当たり報告数( 0.36 )は増加しているが、過去5年間の同時期( 前週、当該週、後週 )と比較して低いレベルにある。都道府県別では宮城県( 3.9 )の増加が急速であり、その他群馬県( 1.7 )、岡山県( 1.5 )が多い。

**小児科定点報告疾患:** 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、第29週に最高値を記録した後は減少し、前年と同様に第42週に最低値となり、その後再び継続的に増加してきている。過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では福井県( 1.3 )、北海道( 1.3 )が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、第35週以降は増加傾向にあり、第51週も増加した。都道府県別では高知県( 3.9 )、山形県( 3.5 )が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加が続いており、第51週もその速度は弱まってはいない。都道府県別では前週に引き続いて福岡県( 31.4 )が最も多く、次いで大分県( 30.5 )、新潟県( 24.1 )の順となっている。水痘の定点当たり報告数は、第42週以降ほぼ継続的に増加している。都道府県別では宮城県( 6.4 )、和歌山県( 4.2 )、宮城県( 4.1 )が多い。手足口病の定点当たり報告数は第29週まで緩やかに増加した後、微減あるいは横ばい状態が続いており、例年と比べて夏のピークが目立たない。第51週は過去5年間の同時期と比較してかなり多く、都道府県別では香川県( 2.8 )、和歌山県( 2.3 )が多い。百日咳の定点当たり報告数は微増し、過去5年間の同時期と比較してかなり多くなっている。都道府県別では島根県( 0.17 )、栃木県( 0.11 )が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、2004年の最多を記録した前週よりは微減した。都道府県別では福井県( 5.6 )、佐賀県( 3.7 )が多い。RSウイルス感染症は、ゼロ報告を含め42都道府県から921例の報告があり、継続的に増加している。1歳以下の報告数が全体の79%を占めている。都道府県別では大阪府( 94例 )、山口県( 81例 )、広島県( 80例 )が多い。

**基幹定点報告疾患:** マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、感染症法施行以降最高を記録した前週よりは減少した。過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では山口県( 1.8 )、岡山県( 1.6 )が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き( 第51週 )

2003年第51週の定点当たり報告数を1として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。





# 注目すべき感染症

## インフルエンザ

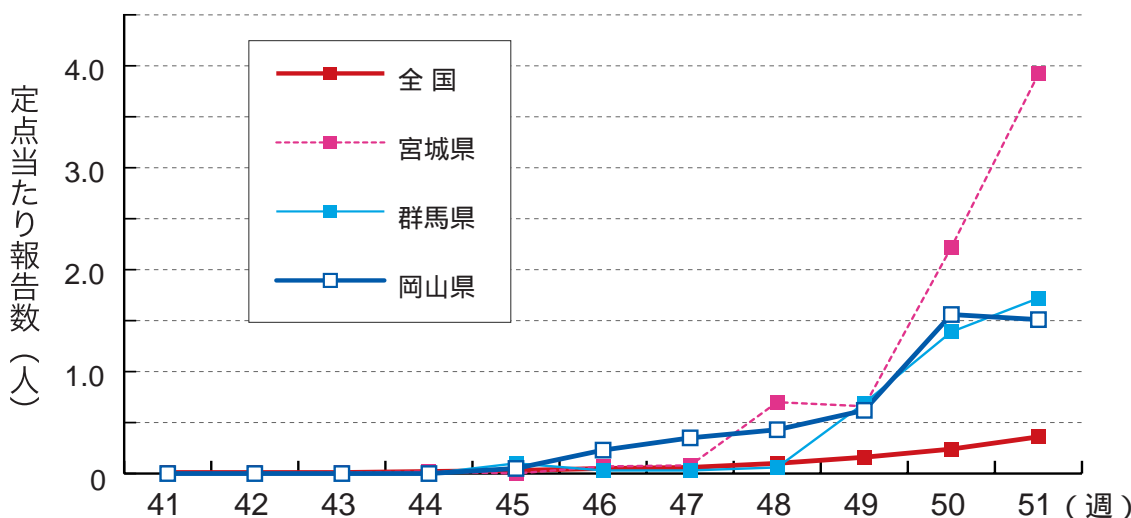
インフルエンザの定点当たり報告数は第51週現在0.36であり、まだ本格的な流行が始まっている状況ではない。しかしながら、宮城県( 3.9 )、群馬県( 1.7 )、岡山県( 1.5 )では1.0を超えており、特に宮城県では石巻保健所管内での報告数の急増により、警報レベルを超えた( 図 )。

現在までに分離されたインフルエンザウイルスとしては、AH3型が27件、B型22件、AH1型16件である( 本号「病原体情報」参照 )。AH1型ウイルス分離の報告は2002/03年シーズンでは1件、2003/04年シーズンでは5件( IDWR2003年第20号「病原体情報」、および2004年第39号「病原体情報」参照 )のみであったことと比較すると、今シーズンの状況は過去2シーズンとは異なっていると思われる。

インフルエンザの流行期に一致して、5歳未満の乳幼児を中心に( 特に1~3歳児 )、毎年国内では100~300名の子どもにインフルエンザ脳症の発生がみられている。インフルエンザ脳症では、インフルエンザ発症による発熱から神経症状( 痙攣、熱せん妄、意識障害など )の出現までが0~1日と急速であり、その予後は致死率30%、後遺症出現率25%と不良である( 「インフルエンザ脳症」の手引き: 厚生労働省「インフルエンザ脳症研究班( 略称 )」編集 )。2002/03年シーズンに大阪では6人の子どもで、インフルエンザ発症後の急性死亡例が報告されており、うち5名は基礎疾患のない1~3歳児で、インフルエンザ発症後48時間以内に死亡し、その後うち3例では、解剖・組織学的所見からインフルエンザ脳症であることが判明した。

インフルエンザ発症者において、インフルエンザ脳症の発生を予防する効果的な方法はなく、インフルエンザの流行そのものを抑制することが重要である。インフルエンザの予防のためには、流行期にうがいやマスクの着用を励行することが、流行前にワクチンを接種することと並んで重要である。

図. 2004/05シーズンのインフルエンザ発生状況





## 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所( 地研 )からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

( 2004年12月22日現在報告分 )

### インフルエンザウイルス 2004/05シーズン

AH3型27件(うち3件はPCRのみによる検出)、B型22件、AH1型16件の分離・検出が報告されている。第45週 11/1 ~ 7 まではAH3型16件、B型2件でほとんどがAH3型の報告であったが、第46週( 11/8 ~ )以降はB型20件、AH1型16件、AH3型11件で、B型とAH1型の分離報告が増加している。

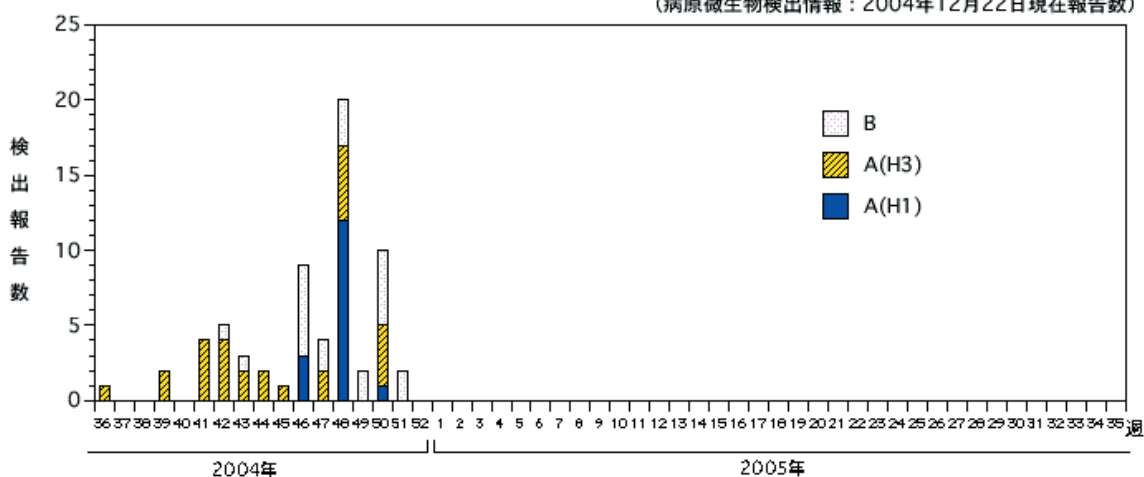
AH3型はこれまでに9都府県( 大阪府7、東京都5、兵庫県4、千葉県3、宮城県、愛知県、滋賀県各2、奈良県、岡山県各1 )から報告されている。第36週に愛知県で海外渡航歴のある患者から分離が報告されて以降、第39週に大阪府、第42週に東京都で地域初の分離が報告されており、都市部からの分離報告が早かった。第46 ~ 51週までの週別報告数は0、2、5、0、4、0である。

B型は11都府県( 兵庫県4、愛媛県3、山形県、茨城県、東京都、静岡県、愛知県、大阪府各2、神奈川県、岐阜県、岡山県各1 )から報告されている。第42週に山形県、第46週に茨城県、兵庫県、第47週に愛知県、第48週に岡山県、愛媛県で地域初の分離が報告されている。第46 ~ 51週までの週別報告数は6、2、3、2、5、2である。

AH1型は4県( 宮城県6、福島県5、岡山県4、群馬県1 )からの報告で、第46週に福島県、岡山県、第48週に宮城県、群馬県から地域初の分離が報告されている。第46 ~ 51週までの週別報告数は3、0、12、0、1、0である。

### 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2004/05シーズン

(病原微生物検出情報：2004年12月22日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



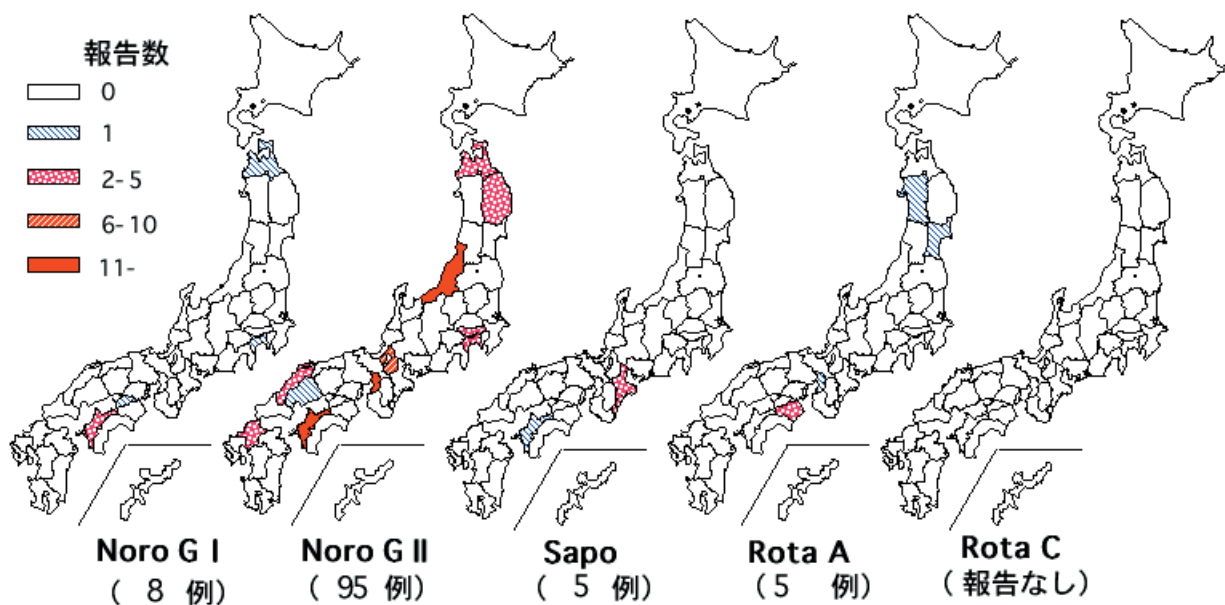
**冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン**

小型球形ウイルス(SRSV)が124件報告されている。このうち、ノロウイルスgenogroup(G)IIが95件で、大阪府35(うち4件は第43週の小児集団発生事例; IDWR2004年第46号14ページ速報記事参照)、愛媛県19、新潟県12、滋賀県7(第44~45週;すべて病院における集団発生事例)、福岡県6など、11都府県から報告されている。また、ノロウイルスGIが4県(愛媛県5、青森県、神奈川県、香川県各1)から、サポウイルスが2県(三重県4、愛媛県1)から報告されている。この他に、ノロウイルスG不明が12件(新潟県7、東京都5)、電顕による検出が4件(広島県2、栃木県1、福岡県1)報告されている。SRSV検出例の年齢は、1歳が33件で最も多く、全体の約6割が0~3歳の乳幼児からの検出であった。

ロタウイルスは5件で、徳島県2(第50、51週)、大阪府1(第43週)、秋田県1(第45週)、岩手県1(第48週)から報告されており、いずれもA群である。

**都道府県別SRSV・ロタウイルス検出報告状況、2004/05シーズン**

(病原微生物検出情報: 2004年12月22日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



# 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

## スマトラ沖地震による津波の影響について

WHO / 状況報告4 2005年1月2日

- ・死亡者総数は約15万人に達し、今後も増加し続けられると思われる。
- ・広い範囲で清浄な飲用水が欠乏しており、被害地域全域で疾患流行のリスクが高まっている。飲用水や下水の質の確保による感染症予防が重点的に実施されなければ、感染症による死亡率増加が強く懸念される。現時点ではWHOは、まだ疾患の流行を報告していない。WHOは健康評価に重点を置き、200万人が3カ月間に必要とする緊急医療資材を動員している。

### 重要な問題点

保健に関する問題点 : 安全でない飲用水や不衛生な下水により、コレラ、腸チフス、細菌性赤痢、A型肝炎、E型肝炎などの水系感染症流行の危険が急速に増加しており、いつでも流行しうる状況である。急性呼吸器感染症やマラリア、性行為感染症、流行しやすい主要疾患( コレラ、赤痢、腸チフス、肝炎、デング、レプトスピラ症、麻疹、髄膜炎など )に対する効果的な診断と治療を確実にを行うためには、医療施設で最新の薬を用い、標準的な治療プロトコルに基づくことが不可欠である。感染制御ガイドラインの実施も必要である。

### 飲用水と下水に関する緊急措置

- 洪水後の水系感染症流行のリスク低減のために実施されるべき最も重要な予防方法は、安全な飲用水の継続的な供給である。
- 無料の塩素化消毒剤が最も広範囲で容易に使用することができ、飲用水の消毒剤として最も入手しやすい。
- UNHCRとWHOは、少なくとも一人1日当たり20L以上の清浄な水が供給されることを勧告する。
- 適切で十分な水タンクと調理用ポットと燃料を供給することで、水の貯蔵を確実なものにし、食品を適切に調理することで、コレラや他の下痢性疾患のリスクを低減することができる。
- 加えて、掘込み便所や公衆便所などの形で、適切なトイレの提供が必要である。
- 下痢性疾患や皮膚と眼の感染症を低減するために、個人的な衛生や手洗いが必須である。

表. 国ごとの感染症リスク

	スリランカ	インドネシア	モルジブ	タイ	インド
コレラ	+	+	-	+	+
腸チフス	+	+	-	+	+
細菌性赤痢	+	+	-	+	+
A型およびE型肝炎	+	+	+	+	+
デング熱	+	+	+	+	+
マラリア	+	+	-	南部では稀	+
発疹チフス	+	+	+	+	+
レプトスピラ症	+	+	?	+	+



輸送、住居、通信などの物資がないことが、救援活動を困難なものにしている。難民に対する福祉センターの設立と運営などの生存者への支援提供が、被災地域における救援活動の重点事項である。世界食糧機構WFP食糧供給隊がインドネシア、スリランカ、ソマリアに到着し始めており、モルジブにも向かっている途上である。

#### 保健上の優先事項

感染症：上水道・衛生システムの破綻、海水混入、難民の密集した状況の結果、数百万人の人々が疾患流行の深刻な脅威にさらされている。これまでのところ、疾患流行は報告されていない。各国があらゆる疾患流行に対して予防努力を開始している。

環境衛生( 安全な飲用水と衛生、衛生状況 )：被災地全てが安全な飲用水と衛生の深刻な欠乏に見舞われている。汚水システムが破綻し、水の供給がわずか1週間から2週間分しかないことが報告されている地域や、島によってはわずか2～3日分しか水が持たないと報告しているところもある( モルジブ、ニコバル諸島 )。

その他の保健問題( 母子保健、精神衛生など )：被災地の住民は精神的トラウマを抱えており、急性の不安症候群やショックの患者も報告されている。

保健衛生システムやインフラストラクチャー( 稼動している保健施設やそこまでの交通手段 )：インフラストラクチャーの損傷や破壊が著しく、保健施設はあらゆる被災地で損害を蒙っている。稼動している保健施設は全力で活動しており、追加の資材が必要とされている。一時的な施設も開設されている。

WHO / 状況報告5 2005年1月2日

#### 保健上の優先事項

上水道・衛生システムの破綻、海水混入、難民の密集した状況の結果、数百万人の人々が疾患流行の深刻な脅威にさらされている。これまでのところ、伝染性疾患の流行は報告されておらず、被害地域での水系感染症、およびベクター媒介性感染症による複数の疾患報告数は正常範囲である。コレラ、腸チフスに対する大規模予防接種は推奨されない。コレラとチフスを防ぐ最も実用的で有効な手段は、十分な衛生設備と十分な量の清浄な水の供給である。

上水道・衛生システムの破綻、海水混入、難民の密集した状況の結果、数百万人の人々が疾患流行の深刻な脅威にさらされている。特に、水系感染症およびベクター媒介性感染症のマラリア、結核、デング熱、日本脳炎、下痢および急性呼吸器感染症は、津波による危機以前から流行していた感染症であった。心血管および脳血管障害、糖尿病、癌などの慢性基礎疾患を持つ患者は、保健設備や医療資材の減少により苦しんでいる。

WHO / 状況報告6 2005年1月3日

感染症

各国では疾患サーベイランスを通じて、あらゆる疾患の発生を防ぐ準備を行っており、データの確認がなされつつある。

タイ: 急性腸炎( 167人 )、創傷部感染症( 163人 )、食中毒( 33人 )、肺炎( 20人 )、マラリア( 8人 )、デング熱( 7人 )

モルジブ: 急性腸炎( 336人 )、ウイルス性熱性疾患( 275人 )、急性呼吸器感染症( 55人 )

スリランカ:

a ) Jaffana 地域で少数の水痘患者が報告された。患者は隔離され、詳細は確認されている。

b ) Batticaloa 地域の30のキャンプから150名の下痢症患者が報告され、うち1つのキャンプから50名の患者が報告された。現在、検体のさらなる検査が行われている。

インドネシア: アチェでの下痢症患者は現在、検査が行われている。

インド: あらゆる救助および救援活動を掌る政府機関からは、伝染病の発生は報告されていない。しかしながら、被害地域のTamil, Nadu, Keralaから散発的な下痢性疾患の報告がある。

アジアでの鳥インフルエンザ流行状況 - 更新

WHO/CSR 2004年12月30日

WHOは、ベトナムでの検査による鳥インフルエンザA( H5N1 )型株感染診断確定患者の非公式報告を受領した。2004年12月26日以来入院している今回の患者は、南部のTay Ninh省で発病した16歳の少女である。ベトナム当局は、感染した家禽との接触の可能性を含め、患者の感染源を調査している。この患者は、2004年9月上旬以来、ベトナム国内で確認された初の鳥インフルエンザA( H5N1 )型株感染患者である。この患者は、12月に南部の諸省で報告された数件の新たな家禽での流行と期を一にしている。Tay Ninh省では最近家禽流行は報告されていない。アジア地域のインフルエンザウイルスは気温の低下と共に活動性を増しており、散発的なヒト感染患者を伴った新たな家禽での流行も予想される。

ベトナムでは2月初旬の旧正月が近づくにつれて、家禽の販売、移送および消費が増加する。こうした動きは、家禽での流行拡大に適した状況を作り出すため、制圧対策の強化が求められる。

2004年1月以来、ベトナムでは感染患者28名が確認されている。そのうち、20名が死亡した。タイでも感染患者を報告しており、2004年年初以来、アジア全体で発生した鳥インフルエンザ感染患者数は45名となっている。

報告された鳥インフルエンザ流行状況は下表のとおり。

国名	患者数( 死亡者を含む )	死亡者数
タイ	17 名	12 名
ベトナム	28 名	20 名
計	45 名	32 名



# 感染症の話

## 腎症候性出血熱

ネズミを介するハンタウイルス( *Hantavirus* )の感染による出血性腎疾患で、スカンジナビア型の良性腎症( 流行性腎症 : nephropathia epidemica : NE、良性流行性腎症 : benign epidemic nephropathy : BEN )、および重症型の多いアジア型の腎症( 流行性出血熱 : epidemic hemorrhagic fever : EHF、韓国型出血熱 : Korean hemorrhagic fever : KHF、出血性腎症腎炎 : hemorrhagic nephros-nephritis : HNN )などの総称である。旧日本陸軍( 関東軍 )が旧満州( 現中国東北地方 )において致死率15%の奇病の流行に遭遇したものは、濾過性病原体による流行性出血熱であるとされ、後に韓国型出血熱と同一のものであることが判明した。

なお1993年、米国においてニューメキシコ州を最初として突如現れた致死率65%に達する急性肺疾患は、*Hantavirus*属に分類される新種のウイルスであることが判明し、疾患名はハンタウイルス肺症候群( hantavirus pulmonary syndrome : HPS )、病原ウイルスはSin Nombre virus( 名なしウイルス )と命名された。

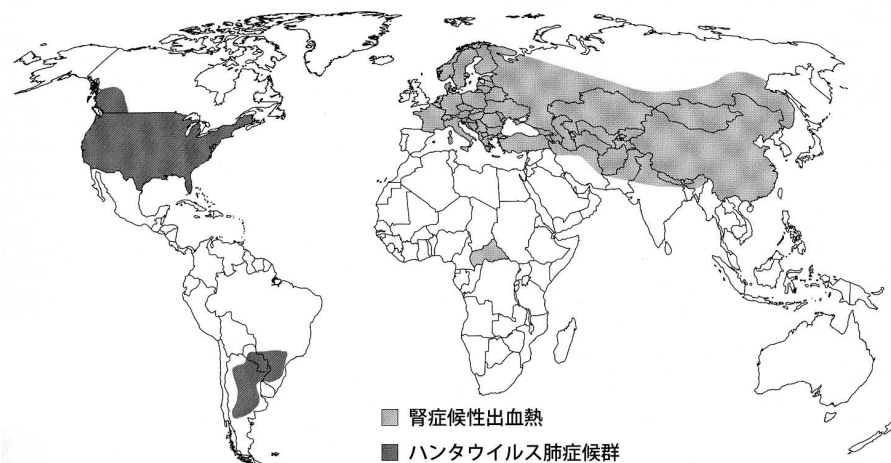
### 疫学

#### 【流行状況】

かつてハンタウイルス感染症は、中国・韓国を中心としたアジア地域の農民、兵士などの間で主に流行するものと考えられていたが、軽症型を含めると北欧を含めたアジア・ユーラシア大陸に広く分布していることがわかった。本症が世界的に注目されたのは、1950年代の朝鮮戦争の際に、朝鮮半島に駐留した国連軍兵士2,000人あまりの間で不明熱患者が発生し、症状と剖検所見から旧満州・旧日本軍の間で流行したEHFと同一疾患であることが判明したことによる。当時本症はKHFと名付けられた。現在でもHFRSは、中国では毎年10万人規模、韓国では数百人、欧州全域では数千人程度の患者発生があるものと考えられており、全世界における本症による年間入院患者数は6~15万人ほどであろうと推測されている。

血清学的陽性を含めると、ハンタウイルス感染はユーラシア・東南アジア・アフリカなどに広く分布しており、新ウイルスであるSin Nombre virusを含めるとアメリカ大陸一帯に広く存在する( 図 )。

図. 世界における腎症候性出血熱およびハンタウイルス肺症候群の分布



"Hunter's Tropical Medicine and Emerging Infectious Diseases( 8版, WB Saunders )"より改変

### 【日本におけるHFRS】

かつての旧満州での流行性出血熱は日本人での感染例ではあったが、日本本土に疾患が持ち込まれてはいない。1960年頃から約10年間にわたり大阪梅田地区で流行し、2人の死亡と119人の患者発生があったいわゆる「梅田奇病」は、ハンタウイルス感染によるものであることがわかった。

1970～80年代に医学生物などの生物系研究室で、実験目的で購入したラットがウイルスで汚染されていたことにより、22機関で126名のハンタウイルス感染患者が発生し、1981年にはラット飼育者が死亡した。現在では、施設の改善と飼育販売業者によるウイルスの事前チェックと感染排除策により、感染者は出ていない。

### 病原体

*Hantavirus*属はブニヤウイルス(*Bunyaviridae*)に分類される。最初に分離されたのは韓国( Lee HWによる )で、保有患者の出身地を流れる川( 漢難河 : Hanta River )から命名された。*Hantavirus*は血清学的には以下の6種類に分類され、疾患、分布もそれぞれ以下のようになっている。

- 1 )Hantaan virus( 疾患 : HFRS、分布 : 中国、韓国、極東ロシア )
- 2 )Dobrava virus( 疾患 : HFRS、分布 : 東欧 )
- 3 )Seoul virus( 疾患 : HFRS、分布 : 中国、韓国、日本、米国、欧州 )
- 4 )Puumala virus( 疾患 : HFRS [NE]、分布 : 欧州 )
- 5 )Prospect Hill( ヒトでの疾病なし、分布 : 米国東部 )
- 6 )Sin Nombre virus( 疾患 : HPS、分布 : 米大陸 )

感染源はウイルスを保有する野ネズミで、ネズミの尿中にはウイルスが大量に排泄される。ウイルス保有ネズミに咬まれる、傷口からウイルス保有ネズミの体液、排泄物などが侵入することなどにより感染する。ウイルス保有ネズミの尿がほこり、土壌などへ大量に混入し、空気感染により感染を受けることもある。潜伏期は10～20日であり、ヒトからヒトへの感染例はない。

### 臨床症状・徴候

軽症から重症まで様々な段階があるが、重篤な症状としての腎不全の存在に注意する必要がある。軽症型では上気道炎症状と微熱、軽度の蛋白尿と血尿が見られる程度で終わることが多いが、重症型では、有熱期、低血圧・ショック期( 4～10日 )、乏尿期( 8～13日 )、利尿期( 10～28日 )、回復期に分けられる。HFRS患者の約1/3は出血傾向を伴う。重症型の致死率は3～15%である。

*Hantavirus*の主な標的臓器は毛細血管内皮細胞であるが、HFRSでは腎血管内皮、HPSでは肺血管内皮が主な病変部位であり、その理由については目下不明である。

### 病原診断

ELISA、IFA、IAHAなどにより、血清中の抗体測定が行われる。PCRによる遺伝子診断、ウイルス分離なども可能であるが、特殊検査であり、一部大学研究機関、一部地方衛生研究所、および国立感染症研究所などで検査室診断が行われる。

### 治療・予防

対症療法が治療の中心となる。低血圧性ショック、および重篤な症状としての急性腎不全の存在に注意する必要がある、人工透析などを要する場合もあることを念頭におくべきである。

野ネズミとの接触を避けることが最大の防御である。積極的な予防方法として、韓国および中国では不活化ワクチンが開発されているが、いずれも国内の一部で使用されているにすぎない。

### 感染症法における取扱い

腎症候性出血熱は四類感染症全数把握疾患に定められており、診断した医師は直ちに最寄の保健所に届け出る。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの

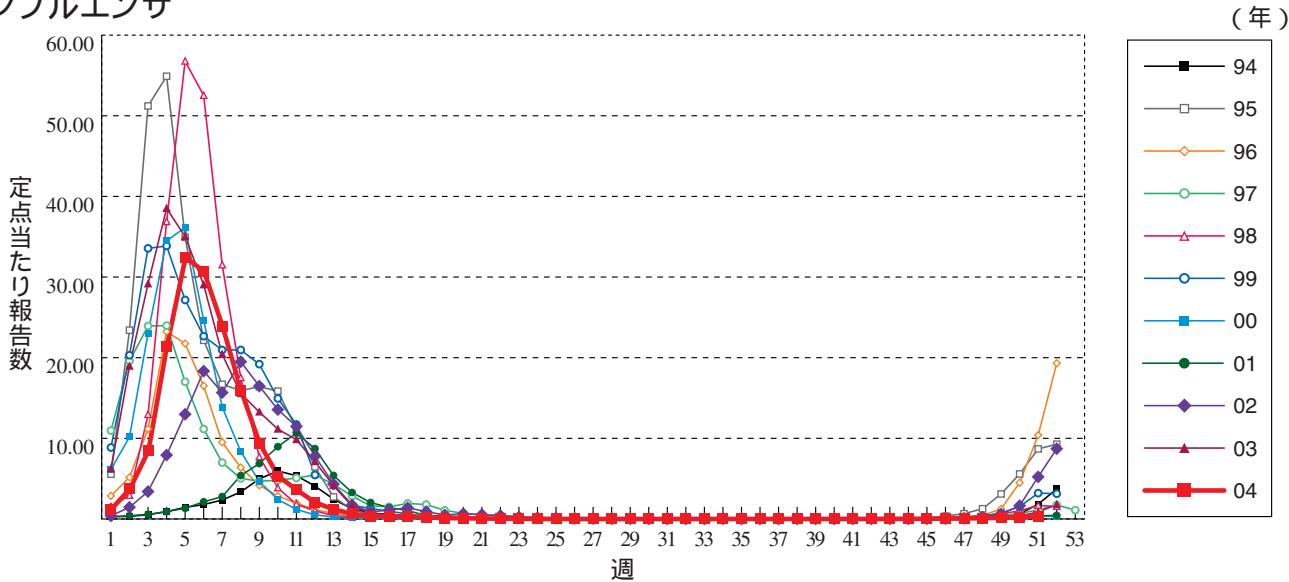
- ・病原体の検出  
例：急性期の血液、尿からのウイルスの分離など
- ・病原体の遺伝子の検出  
例：PCR法など
- ・病原体に対する抗体の検出  
例：血清抗体の検出( ELISA、免疫蛍光法 )など

( 国立感染症研究所感染症情報センター 岡部信彦 )

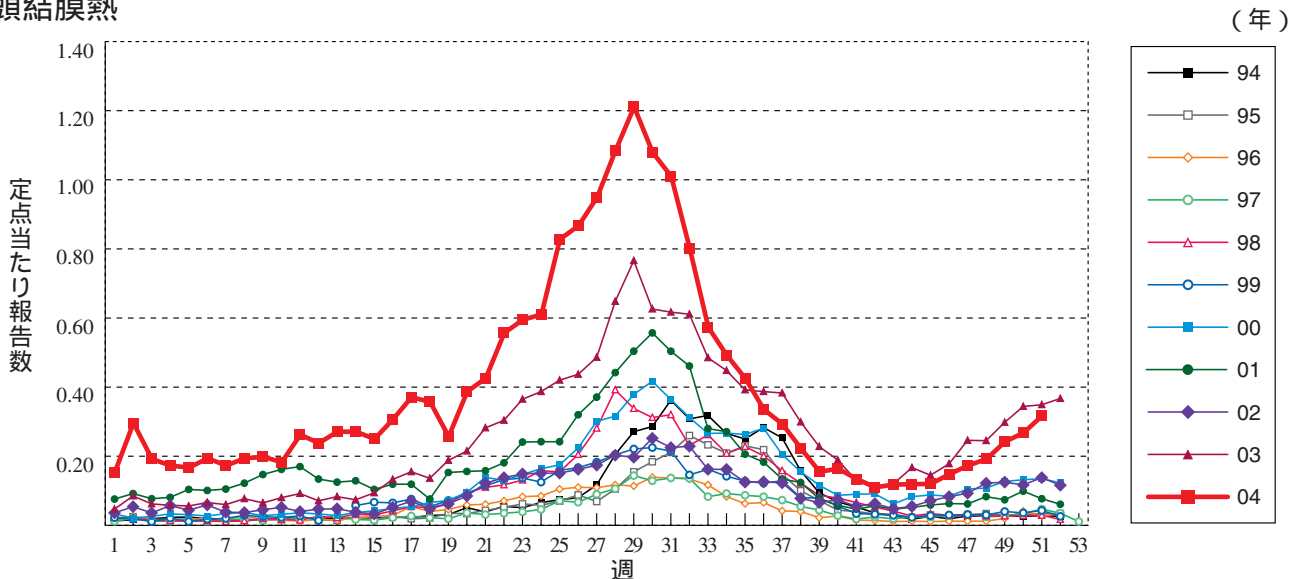


**グラフ総覧(51週)**

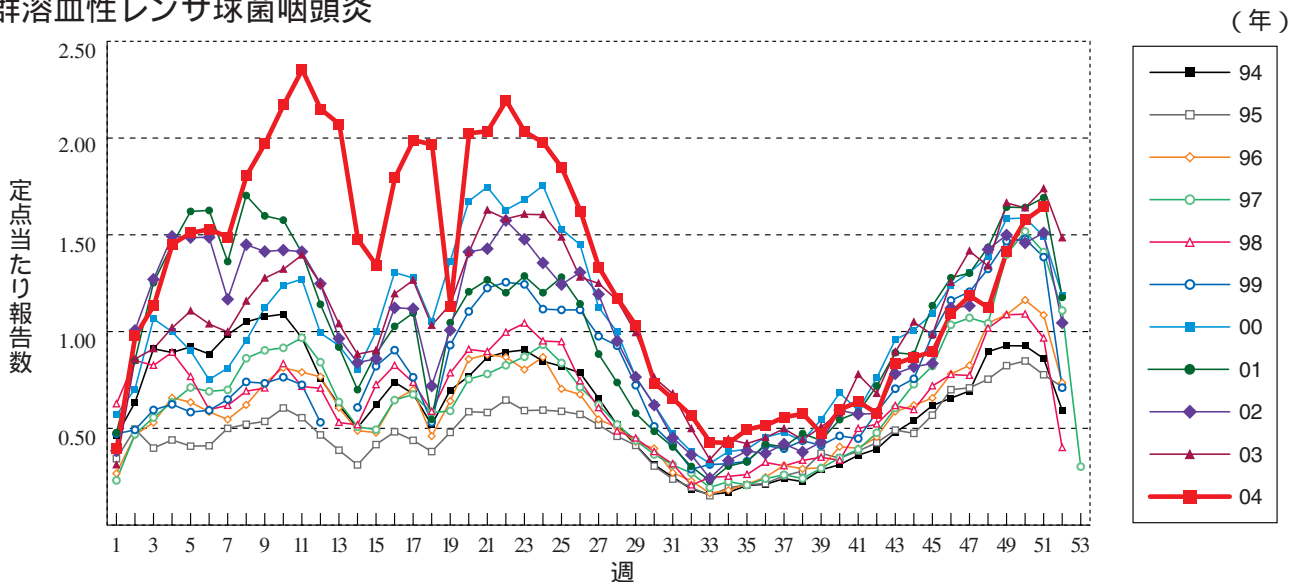
**インフルエンザ**



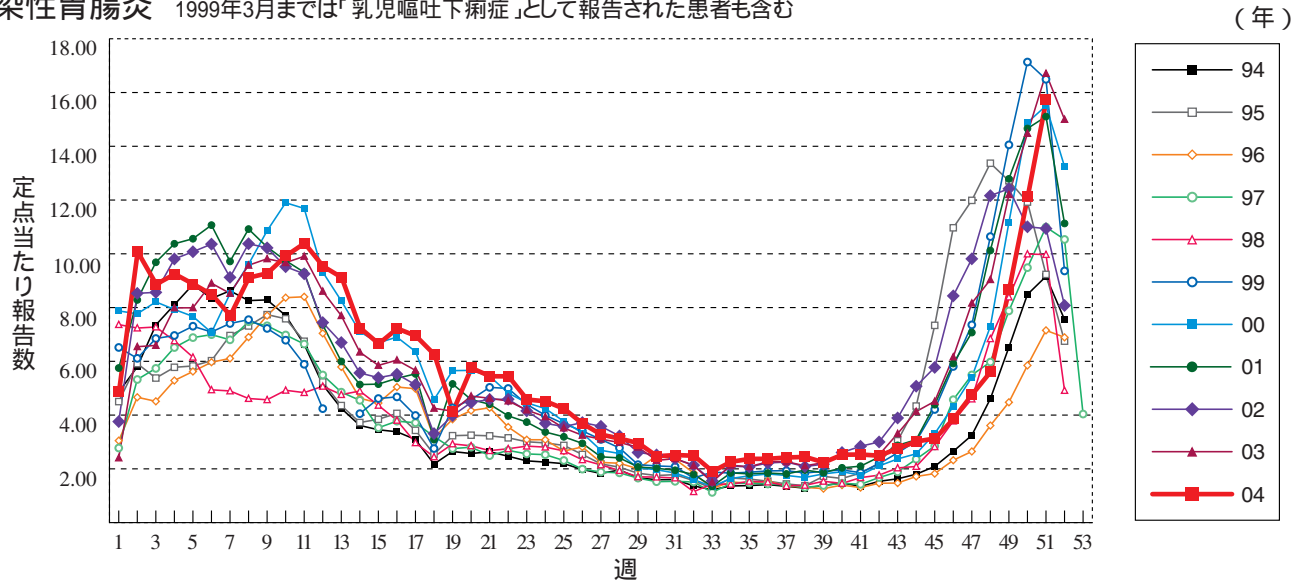
**咽頭結膜熱**



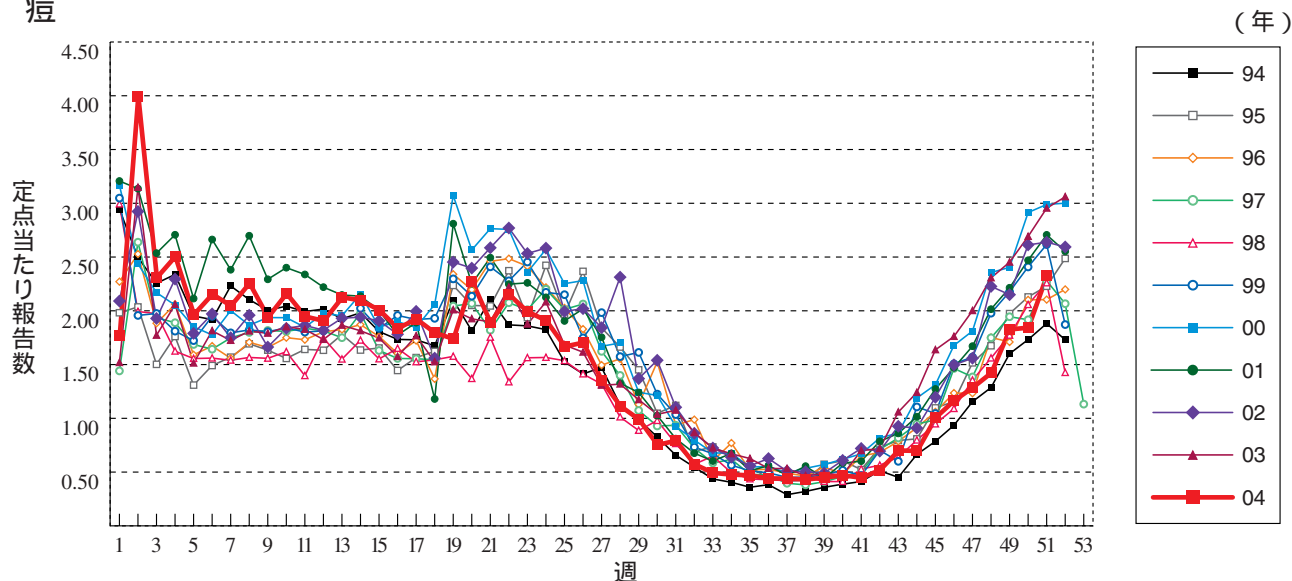
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



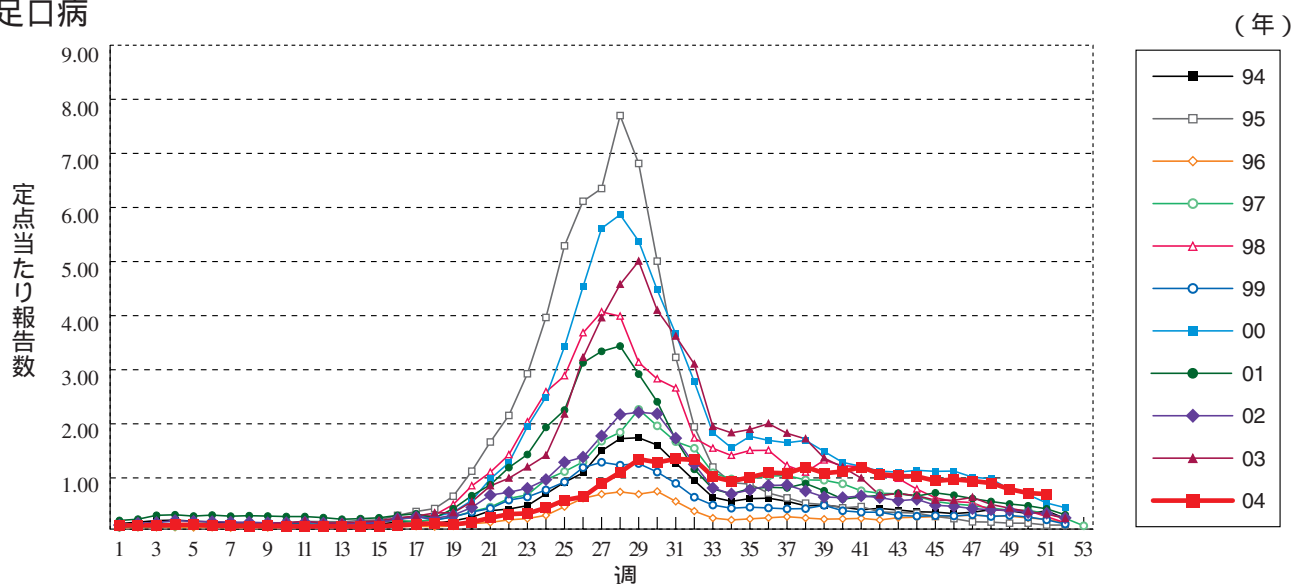
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



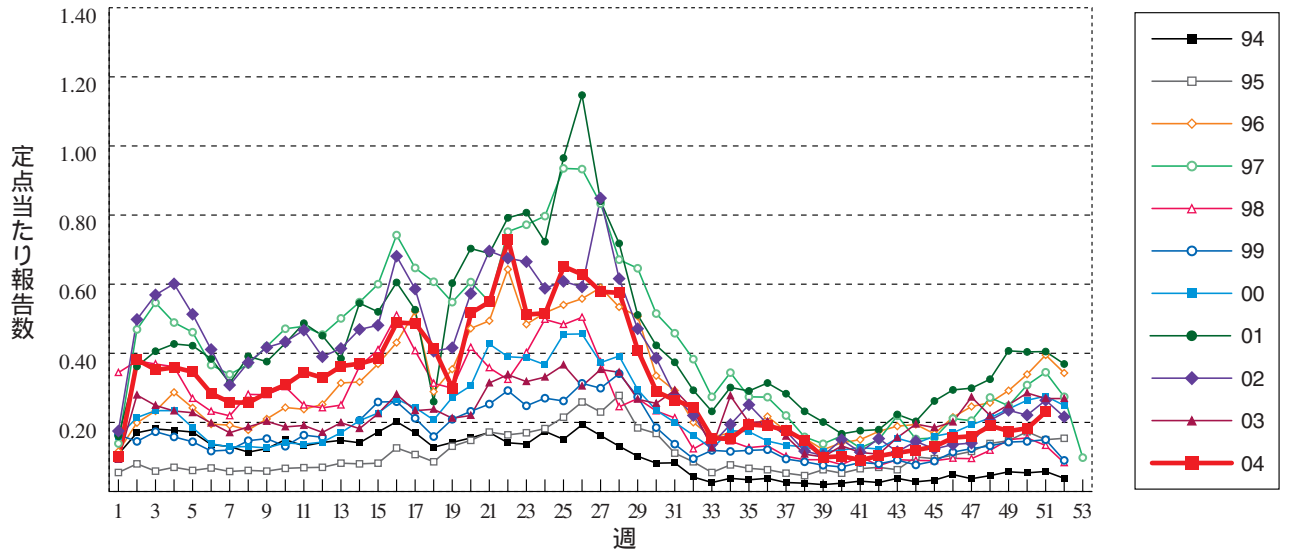
**水痘**



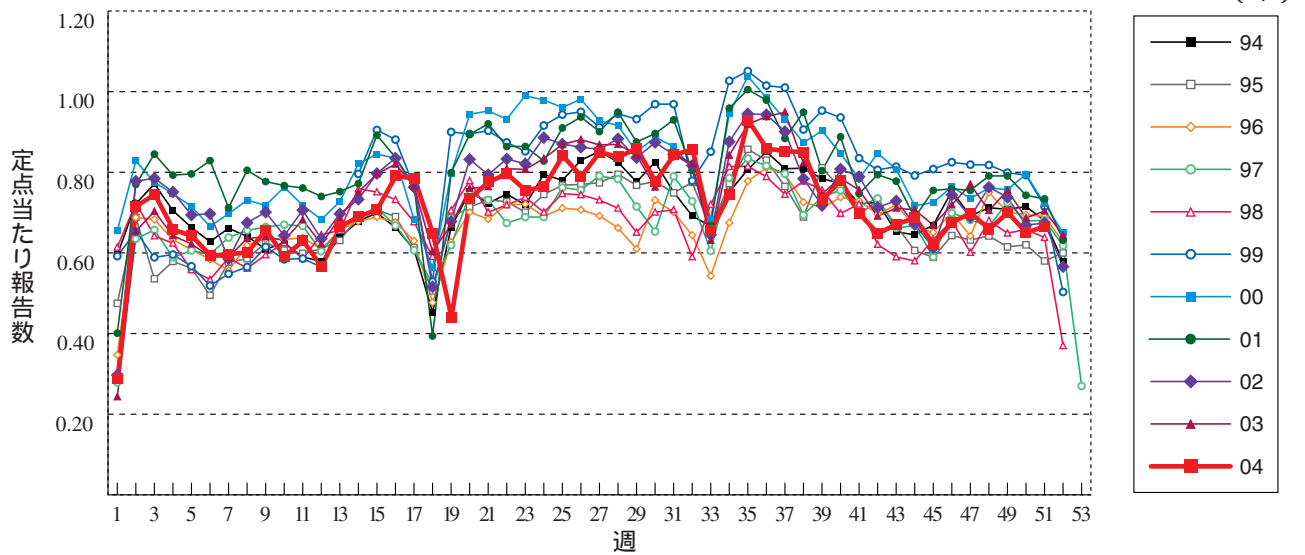
**手足口病**



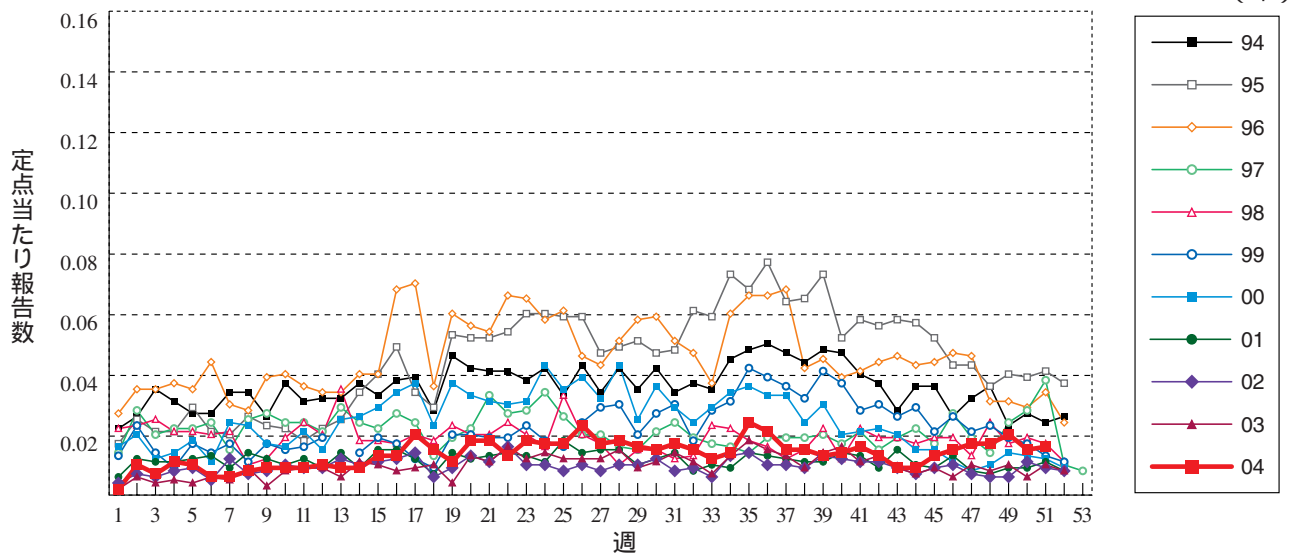
伝染性紅斑



突発性発しん

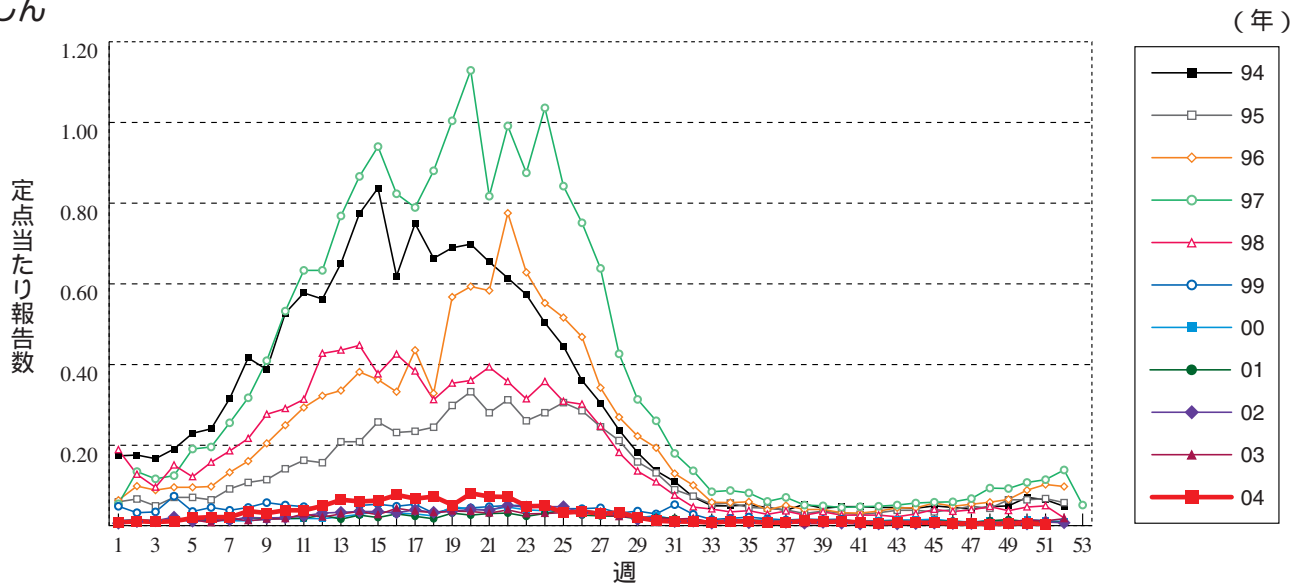


百日咳

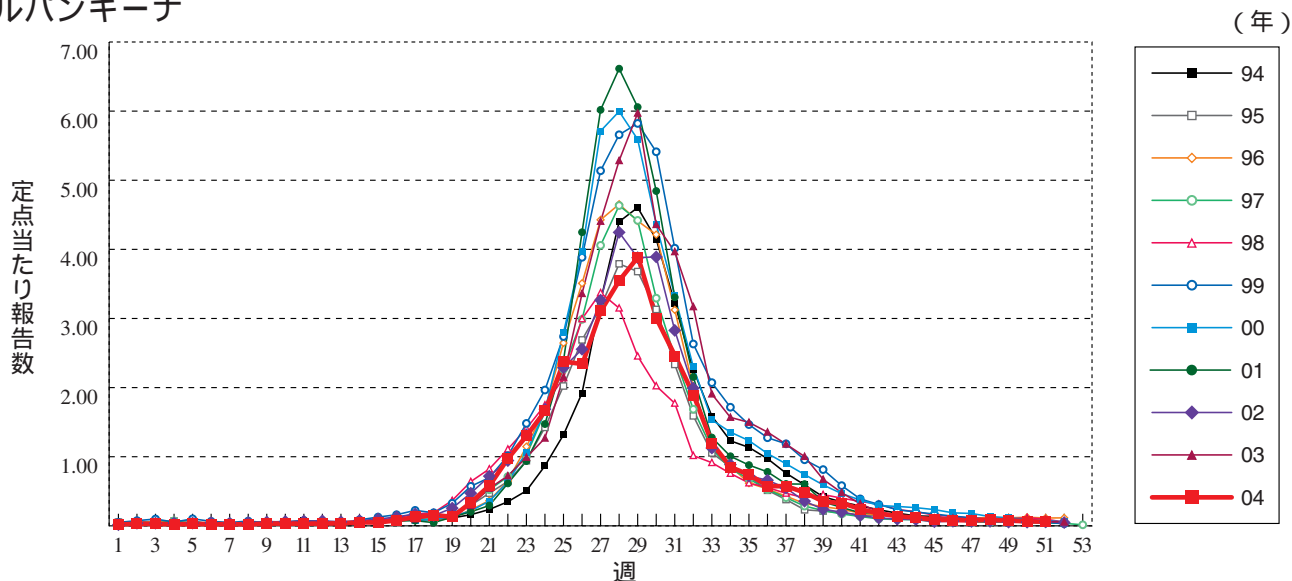




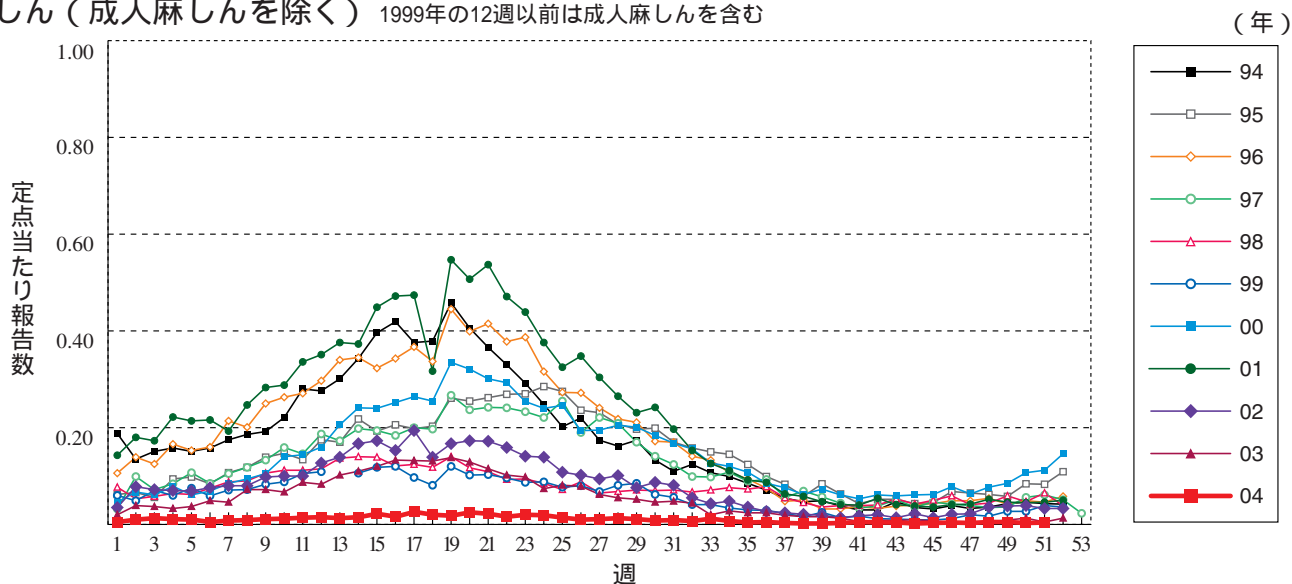
風しん



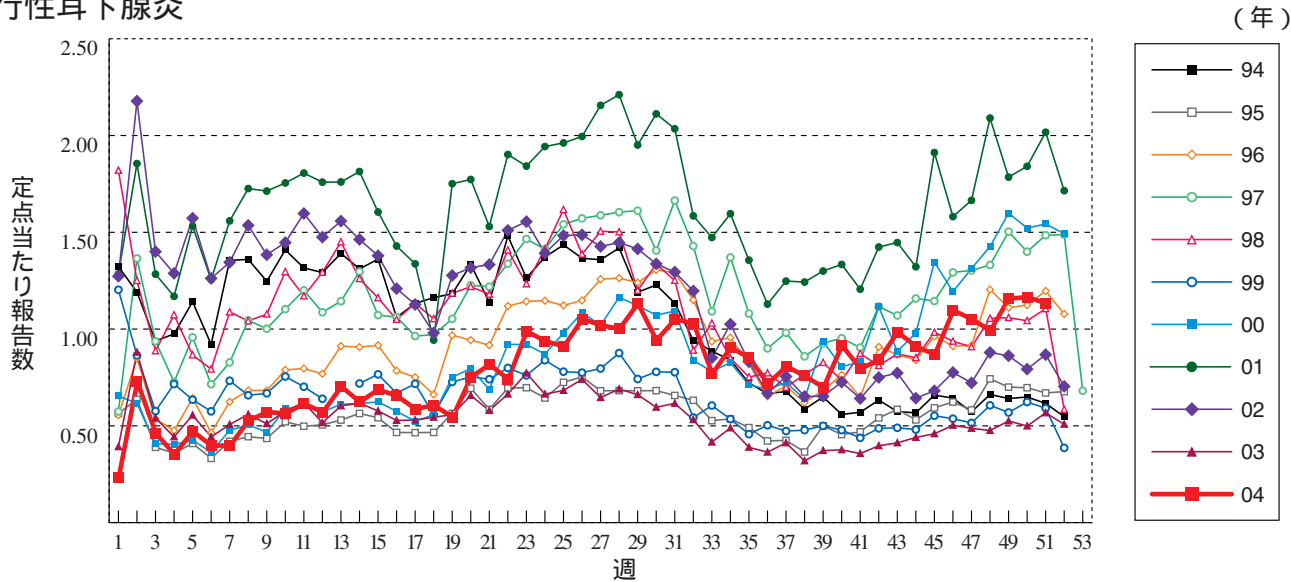
ヘルパンギーナ



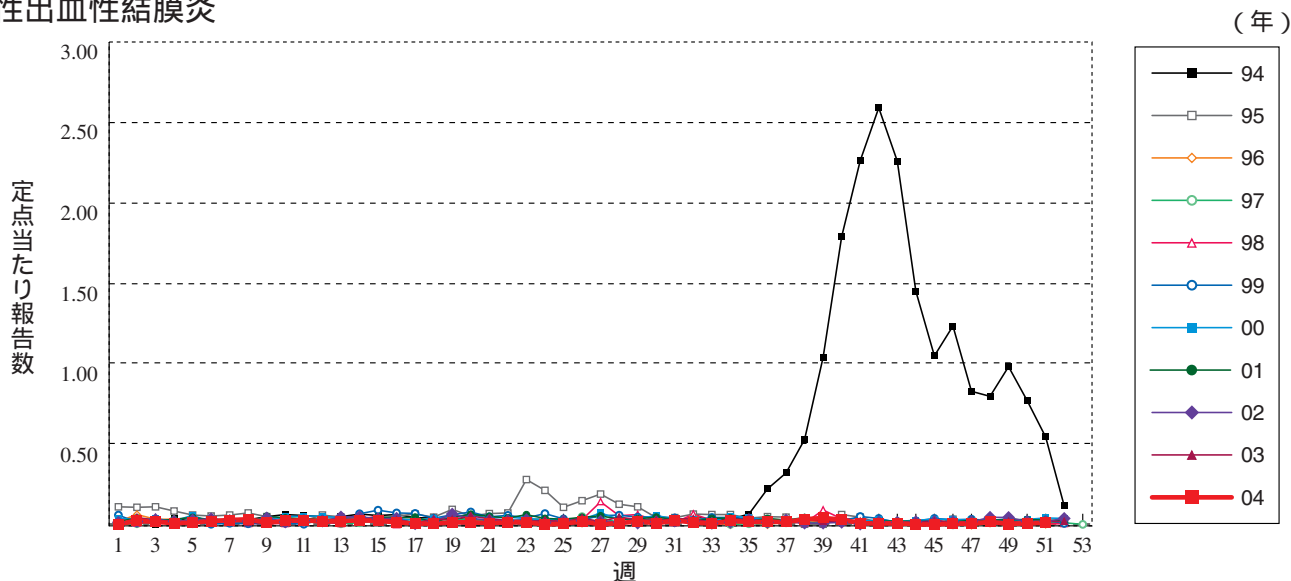
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



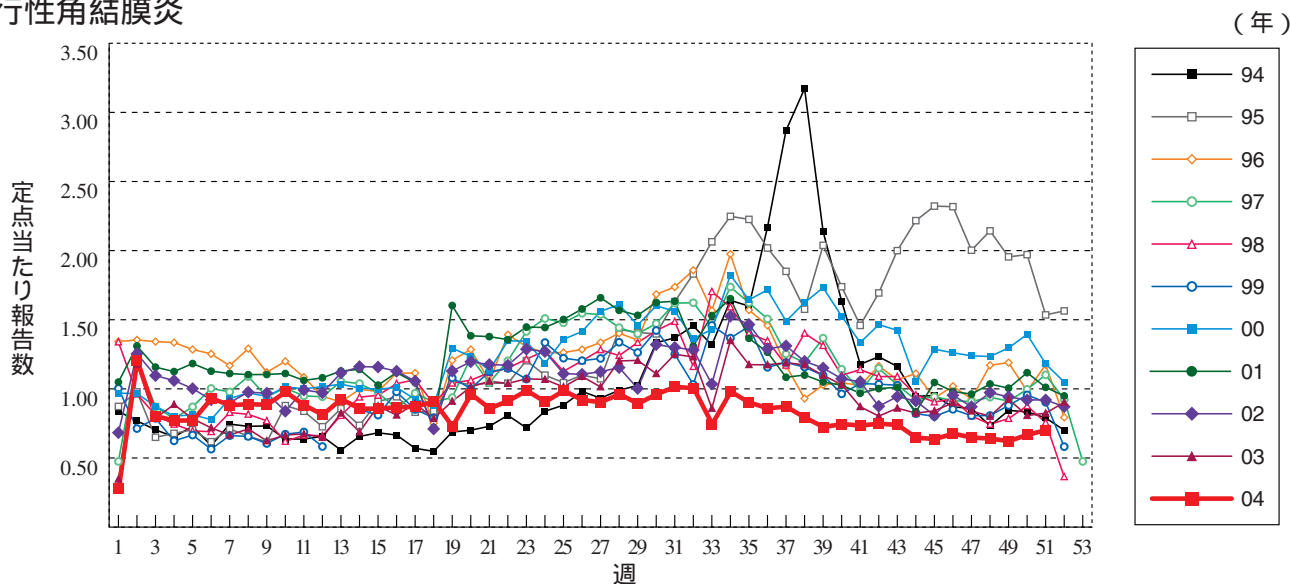
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

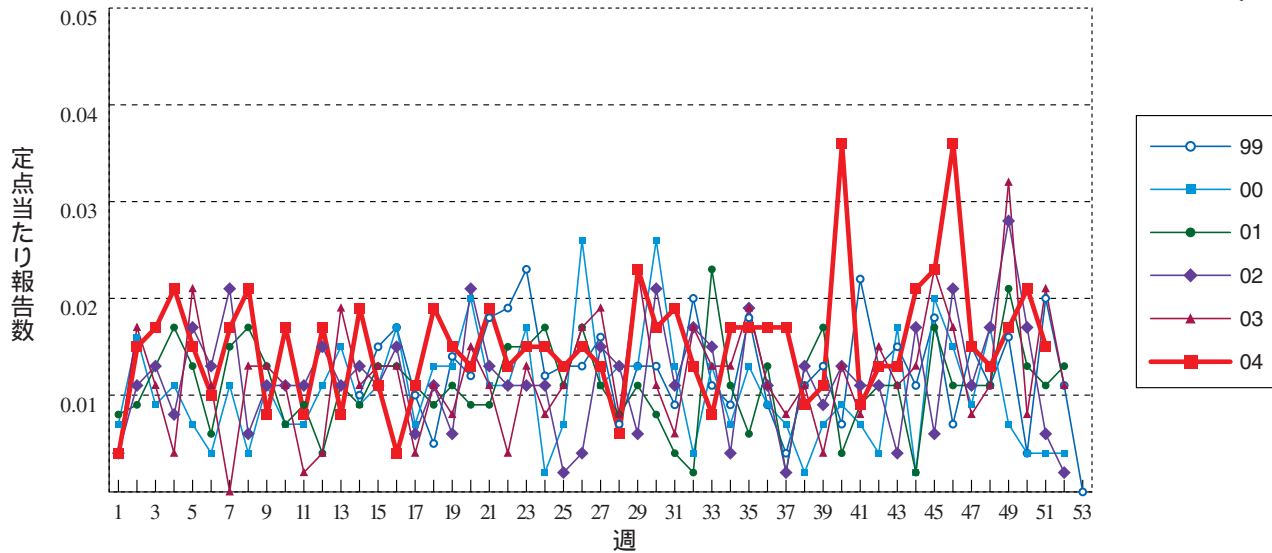


流行性角結膜炎



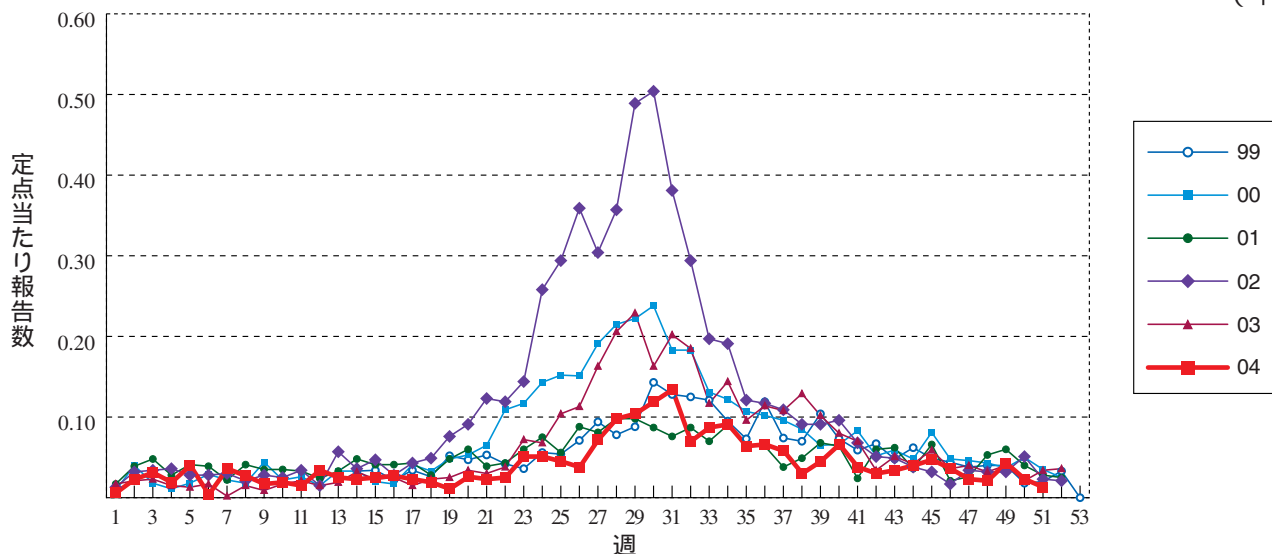
細菌性髄膜炎

(年)



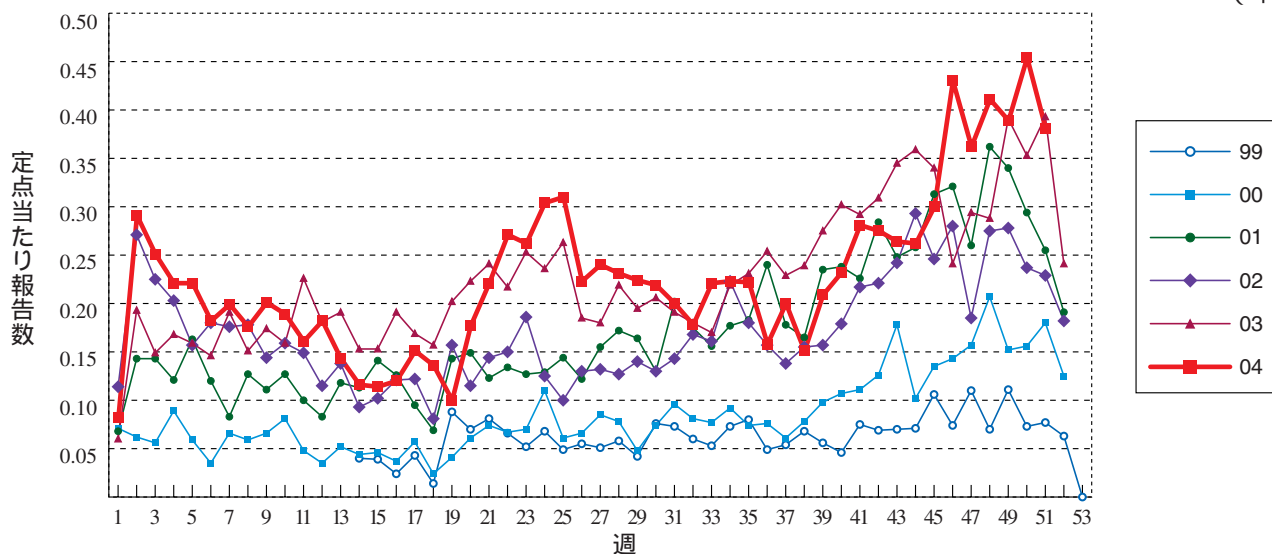
無菌性髄膜炎

(年)



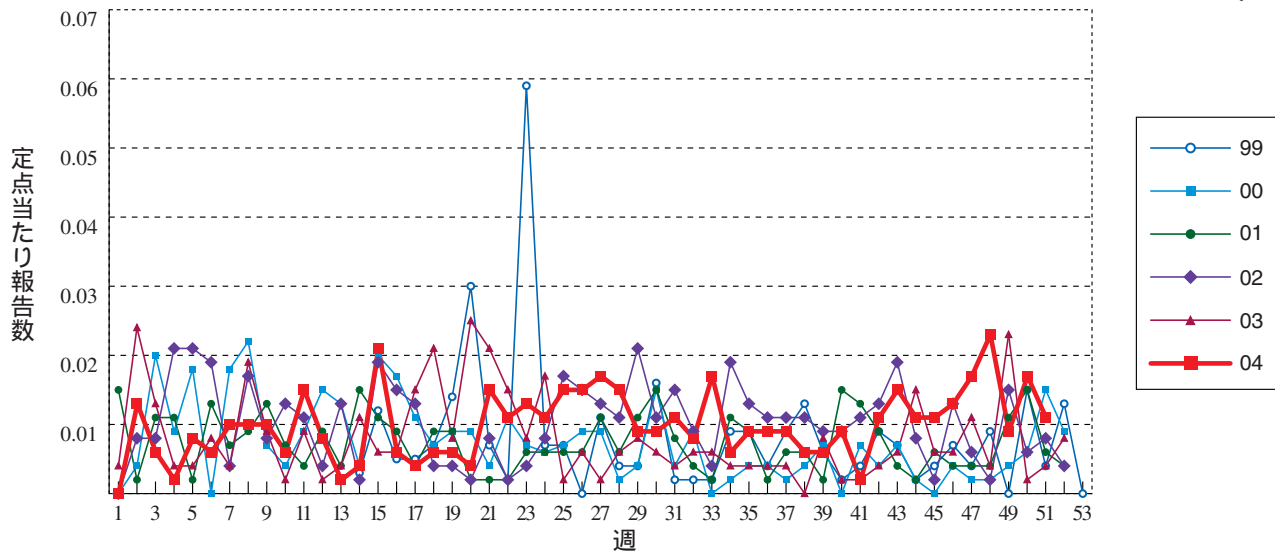
マイコプラズマ肺炎

(年)



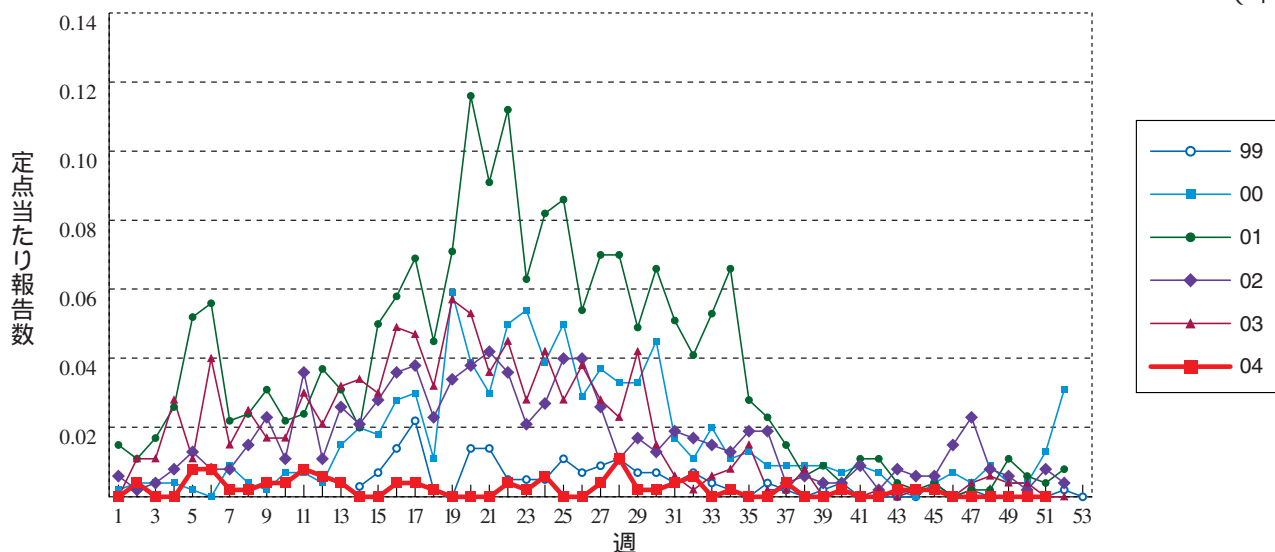
クラミジア肺炎 ( オウム病を除く )

( 年 )



成人麻疹

( 年 )





### 51週のデータ

注)表中の報告数は12月24日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年51週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	80	4	561	1	65	-	82
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	17	-	2	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	1	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	10	-	1	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	18	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	29	-	3	-	4
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	40	-	4	-	6
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	132	-	17	-	15
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	24	-	5	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	10	-	2	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	1	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	9	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	25	-	6	-	10
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13	1	3	-	4
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	50	-	3	-	9
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	24	-	5	-	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	13	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	16	-	2	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年51週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	17	3613	6	561	-	24	-	-	-	38	-	-	3	290
北海道	-	-	-	-	-	68	-	13	-	23	-	-	-	1	-	-	1	11
青森県	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	1	81	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	1	153	-	14	-	-	-	-	1	-	-	-	-	6
秋田県	-	-	-	-	-	57	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山形県	-	-	-	-	-	18	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	84	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	23	1	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	38	-	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	-	89	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	1	6
埼玉県	-	-	-	-	-	78	-	22	-	-	-	-	1	-	-	-	-	6
千葉県	-	-	-	-	2	136	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
東京都	-	-	-	-	2	273	-	134	-	-	-	-	3	-	-	-	-	57
神奈川県	-	-	-	-	-	92	1	29	-	-	-	-	2	-	-	-	-	13
新潟県	-	-	-	-	-	28	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	22	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	-	173	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	43	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	8	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
長野県	-	-	-	-	-	61	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	39	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
静岡県	-	-	-	-	-	65	1	20	-	-	-	-	3	-	-	-	-	4
愛知県	-	-	-	-	1	161	1	43	-	-	-	-	2	-	-	-	-	8
三重県	-	-	-	-	1	77	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	21	-	8	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5
京都府	-	-	-	-	-	65	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
大阪府	-	-	-	-	-	249	1	67	-	-	-	-	6	-	-	-	-	30
兵庫県	-	-	-	-	4	165	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	1	25
奈良県	-	-	-	-	-	55	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
和歌山県	-	-	-	-	-	19	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	53	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	29	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	188	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
広島県	-	-	-	-	-	92	-	12	-	-	-	-	2	-	-	-	-	11
山口県	-	-	-	-	-	53	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	63	-	4	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	97	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	8
高知県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	3	185	-	21	-	-	-	-	3	-	-	-	-	7
佐賀県	-	-	-	-	-	47	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	71	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	86	-	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	26	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	-	-	-	2	48	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	-	51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	30	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年51週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	7	-	-	-	91	4	165	-	52	8	1089	-	6	2	84	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	1	9	-	2	-	11	-	-	-	3	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	1	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	4	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	21	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	14	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	9	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	28	-	6	-	1	1	41	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	54	1	6	-	2	-	56	-	1	-	13	-	-
東京都	-	1	-	-	-	8	1	19	-	6	1	393	-	1	-	17	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	3	-	63	-	1	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	8	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	5	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	37	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	2	-	30	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	2	-	-	-	-	1	4	-	3	1	70	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	2	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	7	-	1	-	22	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	8	-	5	3	127	-	1	-	8	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	4	-	25	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6	-	-	-	4	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	4	-	17	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	14	-	-	1	4	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年51週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	22	-	9	-	-	13	268	1	45	-	67	-	5	6	502	1	96
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	4
青森県	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	9	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	1	26	-	-	-	-	-	-	-	5	1	3
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	8	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	4	-	5
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	16	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	4	-	-	-	12	-	4
東京都	-	7	-	3	-	-	-	7	-	27	-	-	-	-	-	63	-	2
神奈川県	-	3	-	1	-	-	1	18	-	1	-	-	-	-	-	15	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長野県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	4	-	3
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	13	-	4
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	1	36	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	14	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	55	-	3
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	2	-	-	1	18	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	12	-	-	-	1	-	4
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	12	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	1	-	9	-	2
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10	-	-	1	14	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	9	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	13	-	-	-	9	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	31	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	8	-	1	-	-	-	1	-	32	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	1	-	-	-	9	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	4	27	-	-	3	-	-	-	5	-	3
鹿児島県	-	1	-	1	-	-	-	5	44	-	-	11	-	-	2	15	-	6
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1



報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年51週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	47	-	-	-	-	-	-	-	-	1	72	-	4	5	155
北海道	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	8
秋田県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	6	6
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	7	7
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
東京都	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	18
神奈川県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	1	5	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	1
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	9
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	14
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	9
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	9
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年51週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	32	-	-	-	134	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	5	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	4	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	3	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年51週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	17	1	153	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-
東京都	-	-	-	-	-	3	-	9	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-

**全数把握疾患表注釈**

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正( 施行日: 平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照 )により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注 )表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年51週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1685	0.36	967	0.32	5020	1.65	47978	15.74	7103	2.33	1985	0.65	703	0.23	2031	0.67	49	0.02
北海道	5	0.02	180	1.26	389	2.72	801	5.6	497	3.48	24	0.17	21	0.15	82	0.57	1	0.01
青森県	6	0.09	5	0.12	85	2.02	388	9.24	100	2.38	76	1.81	3	0.07	22	0.52	-	-
岩手県	9	0.15	24	0.65	37	1	347	9.38	123	3.32	5	0.14	13	0.35	14	0.38	-	-
宮城県	388	3.92	13	0.21	132	2.16	639	10.48	247	4.05	66	1.08	27	0.44	59	0.97	-	-
秋田県	3	0.05	21	0.6	33	0.94	297	8.49	85	2.43	2	0.06	2	0.06	20	0.57	2	0.06
山形県	2	0.04	9	0.3	104	3.47	517	17.23	107	3.57	13	0.43	13	0.43	24	0.8	-	-
福島県	11	0.14	7	0.15	51	1.06	726	15.13	162	3.38	50	1.04	39	0.81	33	0.69	-	-
茨城県	11	0.1	27	0.36	103	1.39	756	10.22	139	1.88	21	0.28	11	0.15	29	0.39	-	-
栃木県	3	0.04	3	0.07	73	1.59	696	15.13	119	2.59	20	0.43	13	0.28	24	0.52	5	0.11
群馬県	172	1.72	12	0.19	90	1.45	797	12.85	160	2.58	51	0.82	2	0.03	37	0.6	-	-
埼玉県	122	0.48	53	0.33	240	1.49	3528	21.91	436	2.71	69	0.43	29	0.18	110	0.68	1	0.01
千葉県	192	0.9	37	0.28	212	1.58	2377	17.74	330	2.46	146	1.09	31	0.23	84	0.63	1	0.01
東京都	109	0.61	33	0.23	131	0.92	2544	17.92	231	1.63	96	0.68	33	0.23	63	0.44	1	0.01
神奈川県	77	0.23	66	0.32	290	1.41	3879	18.83	402	1.95	83	0.4	46	0.22	173	0.84	2	0.01
新潟県	3	0.03	43	0.72	151	2.52	1445	24.08	142	2.37	30	0.5	11	0.18	51	0.85	1	0.02
富山県	-	-	12	0.41	74	2.55	464	16	59	2.03	49	1.69	10	0.34	28	0.97	-	-
石川県	4	0.08	13	0.45	49	1.69	348	12	67	2.31	59	2.03	8	0.28	19	0.66	-	-
福井県	6	0.19	29	1.32	50	2.27	318	14.45	68	3.09	23	1.05	2	0.09	17	0.77	1	0.05
山梨県	2	0.05	-	-	32	1.28	311	12.44	24	0.96	12	0.48	12	0.48	12	0.48	-	-
長野県	33	0.38	6	0.11	122	2.22	730	13.27	167	3.04	26	0.47	6	0.11	35	0.64	-	-
岐阜県	42	0.5	13	0.25	30	0.57	447	8.43	99	1.87	14	0.26	1	0.02	22	0.42	4	0.08
静岡県	15	0.11	12	0.14	117	1.36	1669	19.41	158	1.84	61	0.71	14	0.16	78	0.91	3	0.03
愛知県	89	0.46	23	0.13	267	1.47	3232	17.76	293	1.61	83	0.46	36	0.2	106	0.58	1	0.01
三重県	-	-	12	0.27	94	2.09	907	20.16	92	2.04	41	0.91	7	0.16	39	0.87	1	0.02
滋賀県	10	0.2	1	0.03	23	0.7	198	6	95	2.88	37	1.12	3	0.09	19	0.58	-	-
京都府	20	0.17	6	0.08	29	0.38	951	12.51	92	1.21	59	0.78	3	0.04	28	0.37	1	0.01
大阪府	55	0.19	24	0.12	228	1.17	2314	11.87	259	1.33	104	0.53	47	0.24	103	0.53	3	0.02
兵庫県	25	0.13	71	0.55	205	1.6	2141	16.73	249	1.95	36	0.28	47	0.37	80	0.63	-	-
奈良県	4	0.09	6	0.17	45	1.29	402	11.49	33	0.94	20	0.57	-	-	17	0.49	-	-
和歌山県	3	0.06	1	0.03	27	0.87	537	17.32	129	4.16	70	2.26	6	0.19	31	1	-	-
鳥取県	5	0.17	5	0.26	38	2	363	19.11	38	2	26	1.37	-	-	18	0.95	-	-
島根県	2	0.05	13	0.57	40	1.74	156	6.78	58	2.52	45	1.96	-	-	17	0.74	4	0.17
岡山県	127	1.51	9	0.17	79	1.46	684	12.67	110	2.04	4	0.07	20	0.37	24	0.44	1	0.02
広島県	14	0.12	17	0.23	79	1.05	1129	15.05	203	2.71	23	0.31	6	0.08	50	0.67	5	0.07
山口県	3	0.04	47	0.96	122	2.49	1050	21.43	171	3.49	41	0.84	22	0.45	49	1	-	-
徳島県	4	0.11	4	0.17	22	0.96	263	11.43	42	1.83	6	0.26	4	0.17	19	0.83	-	-
香川県	-	-	8	0.25	58	1.81	270	8.44	55	1.72	91	2.84	8	0.25	23	0.72	-	-
愛媛県	3	0.05	2	0.05	101	2.59	797	20.44	54	1.38	13	0.33	1	0.03	38	0.97	-	-
高知県	4	0.08	6	0.19	121	3.9	169	5.45	74	2.39	13	0.42	1	0.03	13	0.42	-	-
福岡県	29	0.15	14	0.12	329	2.74	3766	31.38	324	2.7	70	0.58	60	0.5	91	0.76	7	0.06
佐賀県	1	0.03	17	0.74	47	2.04	470	20.43	57	2.48	8	0.35	19	0.83	21	0.91	-	-
長崎県	51	0.73	11	0.25	96	2.18	532	12.09	62	1.41	34	0.77	6	0.14	28	0.64	1	0.02
熊本県	2	0.02	23	0.47	65	1.33	991	20.22	82	1.67	17	0.35	13	0.27	50	1.02	-	-
大分県	1	0.02	1	0.03	102	2.83	1099	30.53	112	3.11	7	0.19	26	0.72	27	0.75	-	-
宮崎県	7	0.12	19	0.51	101	2.73	456	12.32	238	6.43	65	1.76	6	0.16	49	1.32	1	0.03
鹿児島県	7	0.07	8	0.14	75	1.34	1005	17.95	173	3.09	63	1.13	15	0.27	40	0.71	-	-
沖縄県	4	0.07	1	0.03	32	0.94	72	2.12	86	2.53	13	0.38	-	-	15	0.44	2	0.06

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年51週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	12	0	184	0.06	13	0	3454	1.13	12	0.02	448	0.7	7	0.01	6	0.01	179	0.38
北海道	-	-	7	0.05	1	0.01	99	0.69	-	-	29	1	-	-	-	-	5	0.22
青森県	1	0.02	1	0.02	1	0.02	16	0.38	-	-	3	0.27	-	-	-	-	3	0.5
岩手県	-	-	8	0.22	-	-	17	0.46	-	-	20	1.67	1	0.05	-	-	5	0.25
宮城県	-	-	3	0.05	-	-	17	0.28	-	-	2	0.17	-	-	-	-	4	0.33
秋田県	-	-	1	0.03	-	-	4	0.11	-	-	5	0.71	-	-	-	-	5	0.71
山形県	-	-	-	-	-	-	31	1.03	-	-	4	0.5	-	-	-	-	11	1.1
福島県	-	-	7	0.15	-	-	49	1.02	-	-	5	0.42	-	-	-	-	7	1
茨城県	3	0.04	4	0.05	-	-	45	0.61	1	0.06	31	1.94	-	-	-	-	3	0.27
栃木県	-	-	-	-	-	-	14	0.3	-	-	15	1.25	-	-	-	-	2	0.29
群馬県	-	-	2	0.03	2	0.03	61	0.98	-	-	18	1.29	-	-	-	-	4	0.4
埼玉県	1	0.01	9	0.06	-	-	276	1.71	-	-	26	0.7	-	-	-	-	5	0.56
千葉県	-	-	5	0.04	-	-	301	2.25	-	-	24	0.69	-	-	-	-	5	0.56
東京都	1	0.01	13	0.09	-	-	134	0.94	-	-	10	0.71	1	0.04	-	-	7	0.28
神奈川県	1	0	12	0.06	1	0	235	1.14	6	0.14	30	0.71	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	8	0.13	-	-	71	1.18	-	-	4	0.44	-	-	-	-	6	0.46
富山県	-	-	7	0.24	1	0.03	38	1.31	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.6
石川県	-	-	-	-	-	-	8	0.28	-	-	2	0.29	-	-	-	-	3	0.6
福井県	-	-	1	0.05	-	-	124	5.64	-	-	-	-	-	-	3	0.5	-	-
山梨県	-	-	1	0.04	-	-	4	0.16	-	-	2	0.67	-	-	-	-	9	0.9
長野県	-	-	1	0.02	-	-	63	1.15	-	-	3	0.27	2	0.18	-	-	9	0.82
岐阜県	1	0.02	2	0.04	-	-	103	1.94	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	2	0.02	-	-	100	1.16	1	0.05	8	0.4	-	-	-	-	2	0.2
愛知県	-	-	7	0.04	-	-	222	1.22	-	-	21	0.6	-	-	-	-	8	0.62
三重県	-	-	-	-	-	-	39	0.87	-	-	1	0.08	-	-	-	-	2	0.22
滋賀県	-	-	-	-	-	-	41	1.24	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.29
京都府	1	0.01	1	0.01	1	0.01	39	0.51	-	-	7	0.39	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	13	0.07	-	-	231	1.18	1	0.02	13	0.27	-	-	1	0.07	5	0.33
兵庫県	-	-	3	0.02	-	-	88	0.69	-	-	24	0.69	-	-	-	-	1	0.08
奈良県	-	-	2	0.06	-	-	36	1.03	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	-	-	4	0.13	-	-	37	1.19	-	-	2	0.5	1	0.09	-	-	3	0.27
鳥取県	1	0.05	3	0.16	-	-	1	0.05	-	-	1	0.33	1	0.2	-	-	5	1
島根県	-	-	14	0.61	-	-	3	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	4	0.07	-	-	35	0.65	-	-	6	0.5	-	-	-	-	8	1.6
広島県	-	-	10	0.13	-	-	95	1.27	-	-	22	1.1	-	-	-	-	8	0.42
山口県	-	-	4	0.08	-	-	54	1.1	-	-	9	1	-	-	-	-	16	1.78
徳島県	-	-	-	-	-	-	9	0.39	-	-	2	0.5	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	2	0.06	1	0.03	39	1.22	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	35	0.9	-	-	11	1.57	-	-	-	-	1	0.17
高知県	-	-	1	0.03	-	-	8	0.26	-	-	3	1	-	-	-	-	5	0.56
福岡県	1	0.01	4	0.03	5	0.04	315	2.63	-	-	21	0.81	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	86	3.74	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.67
長崎県	-	-	-	-	-	-	17	0.39	1	0.13	4	0.5	-	-	-	-	3	0.25
熊本県	-	-	4	0.08	-	-	74	1.51	-	-	16	1.78	-	-	1	0.07	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	19	0.53	-	-	2	0.4	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	7	0.19	-	-	48	1.3	1	0.25	4	1	-	-	-	-	6	0.86
鹿児島県	-	-	1	0.02	-	-	49	0.88	-	-	6	0.86	1	0.08	1	0.08	3	0.25
沖縄県	-	-	6	0.18	-	-	24	0.71	1	0.1	23	2.3	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年51週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	5	0.01	-	-	921
北海道	-	-	-	-	34
青森県	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	7
秋田県	-	-	-	-	32
山形県	-	-	-	-	23
福島県	2	0.29	-	-	65
茨城県	-	-	-	-	16
栃木県	-	-	-	-	20
群馬県	-	-	-	-	12
埼玉県	-	-	-	-	26
千葉県	1	0.11	-	-	18
東京都	-	-	-	-	25
神奈川県	-	-	-	-	45
新潟県	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	4
福井県	-	-	-	-	14
山梨県	2	0.2	-	-	...
長野県	-	-	-	-	...
岐阜県	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	36
愛知県	-	-	-	-	60
三重県	-	-	-	-	27
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	94
兵庫県	-	-	-	-	38
奈良県	-	-	-	-	7
和歌山県	-	-	-	-	20
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	11
広島県	-	-	-	-	80
山口県	-	-	-	-	81
徳島県	-	-	-	-	41
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	11
高知県	-	-	-	-	7
福岡県	-	-	-	-	...
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	4
熊本県	-	-	-	-	34
大分県	-	-	-	-	5
宮崎県	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	...

**定点把握疾患表注釈**

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正( 施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照 )により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県( ... )が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第51号 平成17年1月11日発行  
発 行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課  
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報( 厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。